

芦屋市議会議員

大原ゆうき

令和3年
9月定例会特集

Blog

ブログ、日々更新中!
<https://oohara-yuuki.blog.jp/>

大原 裕貴

@ooharayuuki

主観性と客観性の融合で安心安全を高め、芦屋の武器に

9月定例会一般質問「ビッグデータを活用した交通安全対策について」より

現在の状況

- 芦屋市は阪神間の中でも比較的交通事故が少ないほうに分類される自治体
- 芦屋市は市域が狭く、近隣市よりも行政の目が行き届きやすい。
 - ➔ 他市に比べても、改善や対策を講じやすいメリットがある。
- 「安全であること」は全ての市民にとって、ニーズや満足度が高い要素の一つである。

質問要旨

ビッグデータ(ETC2.0プローブデータ)を用いた分析を行い、危険(リスク)内包個所について、事故を未然に防ぐ取り組みを進められないか。

期待される効果

- 現状の対策である主観(経験など)に基づく対応に客観性をプラスできる。
 - ➔ より効率的・効果的な対策を講じられるようになる。
 - ➔ 市民の安全、市民満足度の向上に繋がる。
 - ➔ 市外に対するPRにも繋がる。
 - ➔ 人口流入にも寄与

当局答弁

ETC2.0プローブデータを用いた交通事故の未然防止に関する取り組みは、従来の交通安全対策に加え、これまでのETCに比べ自動車の走行履歴データや挙動履歴データ等の収集が可能となり、そのビッグデータの活用は交通安全対策に繋がる可能性があることから、国土交通省とデータの活用について協議していく。

思うこと

交通安全対策の根拠に客観データを用いることは重要であり、利活用する自治体が徐々に増えている。ETC2.0の普及率から鑑みると、芦屋の場合、すぐに活用するのは難しいかもしれない。しかし、狭い市域というある意味デメリットにも繋がる特色を生かし、より効率的、効果的な交通安全対策を講じるための検討を重ねてほしい。

ごみ捨てルールを徹底し、市内のごみトラブルを減少させるべき

9月定例会一般質問「ごみステーションの適正利用について」より

現在の状況

- 他地域の方がごみステーションにごみを捨てている状況がある。
 - ➔ 不法投棄対策も含め、ステーションの管理は地域住民に委ねられる。
しかし、注意する根拠に乏しいため、積極的な抑制には繋がっていない。
- 市としては、市民の出たごみは収集する義務がある。しかし、他地域に捨てられる状況は「家庭ごみステーション設置届出書」を市に届けた上でステーション利用する現状の運用と乖離する。
- 収集カレンダーの違いなどから、分別が守られない状態で放置される可能性が高くなる。
各ステーションで対策されているローカルルールが守られず、カラス被害を受ける可能性が高くなる。
 - ➔ カラス被害を受けた後に片付けるのは、当該ごみを捨てた人ではなく、地域住民。

確認事項

- 他地域の人のごみ捨てを制止する行為の根拠となるルールを明確にする必要があるのではないか。
- そのルールなしで、地域住民で不法投棄対策をしてくれというのは、難しいのではないか

当局答弁

ごみステーションは、利用者で維持管理を行っていただいているものであり、地域外の方が無断でごみを捨てられることは問題があるものと考えている。市としては、個々のごみステーションにおける事案は実態が異なるため個別の相談で対応している。合わせて、ごみステーションの適正な利用についても、今後啓発を行っていく。

やりとりの中で明らかになったこと(当局答弁)

法律上、「みだりに」とは「正当な理由なく」となり、他の地域のごみステーションに捨てる行為も該当すると解されるため、『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』第十六条「何人も、みだりに廃棄物を捨ててはならない。」という条文が家庭ごみにおいても適用可能と解される。程度にもよるが、罰則規定のある厳しい法律に抵触する行為ということになる。

他のステーションに廃棄する行為は問題があるので、見かけた場合は臆することなく注意してもらえば良いと考えるが、他市の事例だと啓発文の中に「違法行為である」と示した上で啓発している自治体もある。他市の事例を参考にしながら、周知啓発を進めることを考える。

思うこと

市内を見ていると、カラス被害を受けているステーションや、分別違いによるごみの放置が散見される。常識的に考えると自分の家の前が荒れていても良しとする人は少ないはず。カラスについても、工夫で被害をある程度回避できることを考えると、現状の状況は、他地域の人によるものも大きいのではないかと。市民にも問題意識を共有し、現状の問題が解決することを期待したい。

プロフィール

- 昭和59年(1984年)2月8日 芦屋生まれ(37歳)
- 伊勢幼稚園、シドニー日本人学校、関西学院中学部、関西学院高等部を経て関西学院大学経済学部を卒業。卒業後は民間企業でシステムエンジニアとして勤務。
- 平成27年、芦屋市議会議員選挙にて初当選。平成31年、再選(現在2期目)

出前報告会募集中!

お一人での座談でも、複数での報告会でもお気軽にお申し付けください!
希望日時と人数、希望テーマ(あれば)を添えて電話 or メールにてご連絡ください。